

上尾ロータリークラブ





2012-13年度R.I.テーマ 奉仕を通じて平和を



島村 健会長

第2466回 例会 2012.11.8

No. 1939 週 報

発行 2012年11月15日

会 長 島村 健 幹事 齋藤 博重 副会長 関口 和夫 副幹事 齋藤 哲雄

編集責任者・

クラブ広報委員長

ゲスト

2007年 社団法人 日本青年会議所 近現代史教育実践委員会 委員長 金子 一夫様

米山記念奨学生

周 京梅さん

横山泰县

1/1月22日 地区大会に振替

行事予定

11月29日 結婚・誕生祝い (時間変更)

会長あいさつ

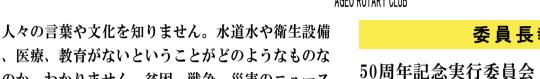
皆さんこんにちは。本日は、2007年日本青年会議所近現代史教育実 践委員会委員長金子一夫様ご多用の中ようこそおいでいただきました <mark>。ありがとうございます。</mark>卓話よろしくお願いいたします。米山奨学 生の周さんようこそ。また、会員の皆様には、ちょっとお時間をいた だきまして修士論文のためのアンケートに協力をお願いしたいと思い ます。 <mark>先週1</mark>1月3日に鴻巣ロータリークラブの創立45周年記念式典、祝賀

<mark>会に</mark>大塚パストガバナー、尾花パストガバナー補佐、大木パスト会長 **〈 大塚パスト会長、齋藤幹事と出席いたしました。会場はアートグレ** イス大宮離宮という大宮のステラタウンの結婚式場でした。 今月はロータリー財団月間です。先週に引き続いてロータリーの友

の田中RI会長のメッセージからの引用になりますが、 ロータリー財団を説明する方法はさまざまですが、私は、ロータリー

財団とは文字通り、ロータリーを支える「土台」であると考えます。 自分の足元の地盤について考えたり、家を支えている柱について考え る人はあまり多くありません。あるのが当然だと考えているからです 。なくなった時に初めて、そのありがたさがわかるものです。2011年 3月11日金曜日、日本では、足元にある地盤が崩れ落ちました。マグ ニチュード9の大地震が日本を中心から揺さぶったのです。1万5,000 人以上の人が亡くなり、6,000人近くが負傷し、現在もほぼ3,000人の 人が行方不明です。ほんの数時間で、裕福な先進国に住む約50万人が 、何もかも失いました。快適で安全な暮らしから、体育館やテント、 壊れた建物の中での、不確かな未来への不安を抱えた生活へと一変し ました。 あの日に起こったことで、日本と日本に住んでいた人々は変わりま

した。自分たちの生活がいかにもろいものであるかを実感したのです 。私はロータリーを通じて援助している人々の立場に、いつ自分が置 かれるかわからないということを認識しました。 財団を通じて支援する人々のことを、私たちは、何か自分たちとは 違うという目で見がちです。彼らは遠い国に住み、私たちはそれらの



のか、わかりません。貧困、戦争、災害のニュース に関して、写真や記事を見ることがあります。私た ちは、遠く離れたところから、苦境に直面している 人たちを見ていますが、彼らの立場に自分を置いて 考えるのは、難しいものです。 私たちが支援するこれらの人々と私たちとを隔て るものは何もない、ということをご理解いただきた いと思います。私たちは、皆同じです。取り巻く環

境が違うだけなのです。 財団を通じて、「世界でよいことをしよう」とい う財団のモットーを実践することができます。財団 を通して、一人でするよりももっと多くの良いこと

ができるのです。財団に大きな関わりがあるのは、 私たちと何ら変わることのない人々なのです。 今日理事会で審議いただきますが、公式訪問例会で 田中ガバナーより50周年の記念事業にと「アフリカ

おります。ぜひご理解、ご協力をお願いいたします 報 齋藤博重幹事

◆入会3年未満の方を対象とした「新会員のつど い」のご案内がきております。12月1日ラフォ

- 長、長沼会員が出席予定です。その他の対象者 は宮島会員、古賀会員、宇多村会員そして、ご 紹介者の大塚崇行会員になります。よろしくお 願いいたします。 ◆地区から職業奉仕セミナーのご案内がきており ます。来年の1月26日に開催予定です。年内中 に出欠の確認をしておりますので、参加ご希望
- ◆来週の例会は新入会員の長沼会員に卓話をした だく予定です。また、当日の夜に歓迎会を開催 くお願いいたします。

保育器事業について」取り組んで行きたいと考えて

ーレ清水園にて開催いたします。こちらには会

- の方はご連絡ください。
- する予定です。ご予定のつく方はご参加よろし

話

日本青年会議所

卓

近現代史教育実践委員会 委員長

2007年社団法人

みなさん、こんにちは

、私は26歳の時に上尾青

年会議所に入りまして、

50周年記念事業につき

委員長報告

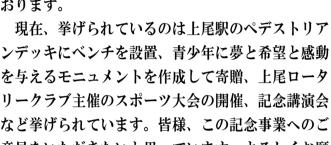
記念事業委員会

村岡武仁委員長

まして図らずも私が記念 事業の委員長を仰せつか

りました。 先ほど会長からお話が ありましたが、先日事業 委員会を開催いたしまして色々なご意見、方針を頂 戴いたしました。その中で広く皆さまからご意見を

頂こうと決まりました。そして、地元で上尾ロータ リークラブをアピール出来る事業をしたいと考えて おります。

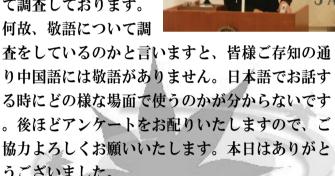


など挙げられています。皆様、この記念事業へのご 意見をいただきたいと思っています。よろしくお願 いいたします。 ゲスト挨拶 米山記念奨学生 周京梅さん みなさま、こんにち

は、先ほど島村会長か

らもありましたが、私 は日本語の敬語につい

て調査しております。 何故、敬語について調



うございました。

そこでJAL、入間基地の方とご相談をしてなんと

8000人以上の方の遺骨が収集されてないというお話

もありました。到着してまず感じたのは暑さ、硫黄

の臭いまた、あちらこちらに落ちている薬莢が印象

的でした。自衛隊の方に案内してもらったのですが

、いまだ地雷が残っている可能性があるという事で

、絶対に道から外れないでくれと言われました。ま

た、年に3回アメリカの星条旗が揚がるそうです。

かご協力のもと行くことが出来ました。いまでも



AGEO ROTARY CLUB

当時の理事長が上尾ロー タリークラブ会長の島村 さんでした。そして40歳

までJCで色々と学ばせていただきました。青年会議 所で39歳の時に地域から日本全国へ委員長として出 向をしておりました。その時、委員会が近現代史教 育実践委員会でした。日清、日露、第1、2次世界大

戦に関する歴史教育をテーマに活動をしました。日

本青年会議所ではこの近現代史をまとめたDVDを作

成しました。そして、私が委員長の時に全国の中学

校に出向き現地の中学生と共に学び普及をしていま

した。このDVDは日本青年会議所の見解で作られた

物で、一度国会の教育再生特別委員会で取り上げら れた事がありました。また、上尾の議会でも取り上 げられました。子どもたちが自分たちの国に誇りを 持てるような歴史教育、国民教育はどんな物だろう かと一年間考えながら全国の教育委員会に出向いて いました。 この活動で中学生から様々な意見がでましたので 、一部紹介したいと思います。「戦争は日本が悪い と思っていたが、そうではないと理解できた」、「 昔の日本の人が守ってくれた、この国をこれからも 大切にしていかなければいけないと思った」、「学

校で習う社会の歴史で教わることが出来ない事もた

くさんあると知ったので、自分で調べていきたいと

思った」、「自分自身の変化は日本に対する思いで

す。小さな島国だけれどもたくさんの思いが、詰ま

った歴史があると大切に思って、日本という国にこ

れからも住んでいきたいと思います。」などの声を

また、関東一円の青年会議所が集まって硫黄島に

聞くことが出来ました。

行くという話が出てきました。当時は民間では遺族 会しか行けない状況でした。 最後に明星大学教授の高橋史朗さんコメントを紹 介したいと思います。 「戦後の歴史の原点は、スミスの書いた太平洋戦 争史であり、その多くの出典は平和と戦争という米 国主観であります。悪玉、善玉という主観で日、独 、伊が悪玉で米、英が善玉であり、正義の国が邪悪 な国を裁いたという戦争として、一方的に日本を裁

いた歴史を自国の物語として学んできた。また教科

書の検閲もあり愛国心や国家的英雄を教えて来なか

った。何故、英雄を教えないのか?それは日本への

誇りが生まれるからであります。小中学校の義務教

育ではまず、自国の立場をきちんと教えて自国の愛

情を育てていくのが、世界の常識であります。日本

の若者は領土の問題は語れません。中国や韓国の若

んが誇りの復権を目指すべくDVDを作られたのは必

然だと思います。教科書問題は私達がどう歴史認識

を持って、自分の言葉で自分の子どもたちに伝えら

れるかどうかが重要になってきます。」とコメント

者と議論が出来ません。それは学んでいないからで あり、それが現状であります。歴史教育には順序が あります。まず、小中学生は自国の立場を学び、高 校・大学では相手の立場で客観的に複眼的に見る。 そういう歴史感を育てる事が大切であり、JCの皆さ

をいただいて、一年間委員長として頑張っておりま した。 本日は近現代史というテーマでお話させていただ きました。ご清聴ありがとうございました。

- ■島村会長 金子様ようこそ、卓話ありがとうございます。
- ■岡野会員/結婚祝いありがとうございます。
- ■長沼会員 卓話ありがとうございます。
- ■大木会員 金子さん卓話ありがとう。また台北空港であいましょう
- **■関口副会長 金子様卓話ありがとうございます。** ■齋藤博重幹事 金子様卓話ありがとうございます。

村岡会員 小林会員 古賀会員 渡邉会員 大塚会員 齋藤会員 藤村会員 萩原会員 武重会員 井上会員 野瀬会員 樋口会員

その後、ジャーナリスト笹幸恵さんとご一緒にな って近現代史研究会を開きました。いまでも笹さん を中心に東京新宿で活動しています。私は今、お手 伝い出来ていない状況ですが、近現代史研究会では 年間に10人くらい戦争経験者をお呼びして記録をし ています。この記録は後世に伝えるための資料とし ていまも記録をし続けています。もし機会がありま したらご紹介いたしますので、その時は私までご連 絡ください。 歴史の認識はそれぞれ皆様がお持ちだと思います 。ただ、次世代の子どもたちのために歴史教育、国

民教育の責任世代として考えていかないといけない

という機会を今回、青年会議所から与えられたと思

グアムで28年振り見つかった横井庄一さんですが当

時、私の母の叔父がグアムの政府観光局の所長をや

っていまして、発見された横井庄一さんとグアムか

私も全然知らなくてこの委員会の活動で関心を持

ら日本に一緒に帰ってきたそうです。

っております。それまで私も知りませんでしたが、

つようになってからそういった話を聞くようになり ました。横井さんは帰国後、名古屋で結婚されまし て横井さんの奥さんに会いに行きました。また、叔 父は亡くなったのですが、叔父の奥さんに会って当 時の事を記録に残そうと取り組んでいます。ただ3 日前に叔母が亡くなったとの手紙がきまして私もも う少し早く記録を残す取り組みにかかれば良かった なと感じております。 なかなか仕事をしながらこういった活動するのは 大変ですが何か子どもたちに伝えていければと思っ ております。

2012~2013年度 10月 出席表 親睦旅行 10月20・21 日 第2462回 10月11日 第2464回 会員名 当月(%) 通算(%) 10月25日 100.00% 井上 清 100.00% 学多村 海児 大 保司 100.00% / 100.00% O 0 100.00% 100.00% 00 100.00% / 100.00%

0

0000

100,00% 100.00%

25.00% 100.00%

100.00%

100.00%

75.00%

100.00% 100.00%

100.00% 100.00%

100.00%

100.00%

100.00%

50.00%

100.00% 100.00%

100.00%

50.00%

100.00%

100.00%

100.00%

100.00%

75.00% 100.00%

25.00% 100.00%

100.00%

75.00%

100.00%

100.00% 100.00%

100.009

93.759

93.759

56.259

100.00%

100.009

100.00%

100.00%

100.00%

100.00%

87.50%

68.75%

100.00%

56.25%

100.00%

100.00%

87.50%

100.00%

43.75% 93.75%

93.75%

25.00%

75.00%

0

M

岡野 晴光

川島 紹佑神田 博一

久保田 勲

須田 悦正

関口 和夫

富岡均

藤村作

細野 宏道

出席

欠席

М

0

0

<u>欠000</u> 00000 OOO 0 0 O 0 0 0 0 00 00 0 樋口 雅之 0 深澤 圭司

0000

0

M

0

欠〇

M

欠席数

会員数 36 18

欠席数

出席数

(%)

5 6

18

50

前々回確定 86.11 (M·U) 修正 (%)

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 <u>事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303</u> <mark>例会場 東武バンケットホール4F(ポリアス) TEL/FAX 048-775-7788</mark>

発行元 KWS

26,000円